

和太鼓国際演奏交流春祭り訪問

「NPO ユーラシアンクラブ・愛川サライ」 平成27年4月3日（木）

ロシア連邦・サハ共和国太鼓集団「テティム」と農村環境改善センターを練習場とする和太鼓団体の、交流演奏会を訪問しました。

「この場所での太鼓の演奏会なら、周りに迷惑はかけない」との諏訪部実行委員長のことばのあと、大地に響き渡る迫力の演奏が始まりました。



サハ共和国太鼓集団「テティム」：指導者のハトラエフ夫妻、11歳から17歳の男女13名、
ジェーニャ通訳の、計16名 からだ全体を使っでの演奏とサハ指導者夫婦の歌



「舞彩駒」威勢の良い太鼓に、横笛の音



「打縁」腰太鼓のバチさばきもみごと

来日した「テティム」の団員が、和太鼓指導者の金子竜太郎氏による4日間の指導を受け、その成果を披露する演奏会。そこに、厚木市で活動する「舞彩駒」と、愛川高校和太鼓部・和太鼓部OBOGが結成したユニット「打縁」も加わり、ホールに響く力強い演奏が100人の聴衆を魅了していました。

「NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ」の行う「テティム」の愛川町滞在中には、テティム受入実行委員会をはじめ、今回初めてNPO法人地域生活支援の会・あいの「春日台タウンカフェ」での朝食提供や、ホームステイ受入他、さまざまな協力があり、町の中で国際交流の輪が広がっていました。

この夏にも再来日と8月1日に研修発表を兼ねた音楽祭を計画しているそうです

カフェでの朝食提供風景

